Nikon

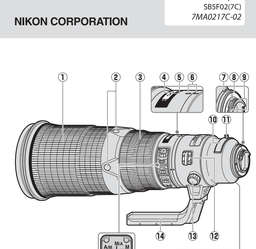
NIKKON

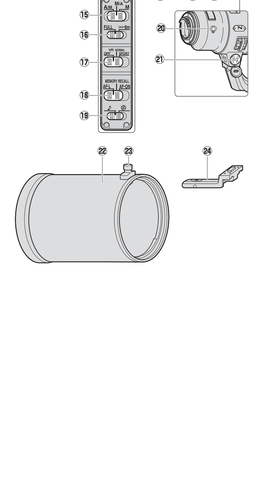
AF-S NIKKOR 500mm f/4E FL ED VR

Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation
Es Manual del usuario
Sc 使用说明书
Pb Manual do usuário
Kr 사용설명서

Printed in Japan
SB5F02(7C)
7MA0217C-02

NIKON CORPORATION





M/A(マニュアル優先オートフォーカスモード)とA/M（オート優先オートフォーカスモード）の使い方

A/M：フォーカスリングを自動させると、瞬時にマニュアルフォーカス重視で行えます。

A/M：フォーカスリングを回転させても、瞬時にはマニュアルフォーカスにならず動きません。オートフォーカスを優先させたい時にご使用ください。

1 **フォーカスモードを切り換えスイッチを（A/M）または（M/A）にセットする**
2 **オートフォーカス撮影時、カメラのシャッターボタンを半押ししたまま、あるいはカメラのAF作動（AF-ON）ボタンをおしてピントを合ってからカメラ動作が（フォーカス作動開始）スイッチ：AF-ON）を保持したまま、フォーカスリングを手で回転する**
・マニュアルフォーカス撮影が行えます。
・カメラのシャッターボタンを再度半押ししたり、カメラのAF作動（AF-ON）ボタンをはなしたりしてオートフォーカスが再度動作すると、オートフォーカスで撮影が行えます。

フォーカス制限切り換えスイッチの使い方

オートフォーカスで撮影する場合に使えます。

FULL：すべての撮影距離で使用できます。

∞～8m：撮影距離が常に8m以上の場合にセットします。ピント合わせの時間を短縮できます。

■ フォーカス作動設定スイッチとフォーカス作動ボタンの使い方

フォーカス作動設定スイッチで、フォーカス作動ボタンの機能を次のように設定できます。

フォーカス作動設定スイッチ	フォーカス作動ボタンの機能
AF-L	フォーカスロック
MEMORY RECALL	メモリーリコール
AF-ON	オートフォーカス作動

・フォーカス作動ボタンは、4個ともしっかりおされた状態で使用してください。

・フォーカス作動ボタンは、ご希望の位置に交換（回転）できます。詳しくは、ニコンサービス機関へお問い合わせください。

フォーカスロック（AF-L）

オートフォーカスで撮影する場合に使える機能です。

1 **フォーカスモードを切り換えスイッチを（A/M）または（M/A）にセットする**
2 **フォーカス作動設定スイッチを（AF-L）にセットする**
3 **オートフォーカスモードでフォーカス対象物を合焦し、フォーカスをロックして撮影する**
・フォーカス作動ボタンを押している間、ピントが固定されます。
・フォーカスロックはカメラ側でも行えます。

■ メモリーリコール（MEMORY RECALL）

レンズにピントの位置を記憶させて、瞬時に呼び出すことができます。決まったピント位置で頻繁に撮影する場合に便利です。

ピントの位置を記憶させる

1 **電子音スイッチを♪にセットする**
2 **被写体にピントを合わせる**
3 **メモリーセットボタンを押す**

・正しく記憶されて場合は、ピッと鳴ります。
・正しく記憶されなかった場合は、ピッピッピッと鳴り、距離目盛が左右に10 回時度振れます。もう一度ピントの位置を記憶させてください。
・ピントの位置の記憶は、フォーカスモードやフォーカス作動設定スイッチ等の設定にかかわらず可能です。
・カメラの電源をOFFにしたりレンズをカメラから取り外したりしてもピントの位置を記憶しています。

メモリーリコールを使って撮影する

1 **フォーカス作動設定スイッチを（MEMORY RECALL）にセットする**
2 **フォーカス作動ボタンを押し、ピッと鳴ったら撮影する**
・シャッターボタンを半押ししてもも、フォーカス作動ボタンを押すと記憶させたピント位置にセットされます。
・フォーカス作動ボタンは、シャッターがされるまで押し続けてください。
・フォーカス作動ボタンが故障すると、通常のオートフォーカスまたはマニュアルフォーカスに戻ります。

電子音スイッチについて

メモリーレコール後作時の電子音を鳴らすかどうかを切り換えられます。

♪：電子音が鳴ります。

🔇：電子音が鳴りません。

オートフォーカス作動（AF-ON）

1 **フォーカスモードを切り換えスイッチを（A/M）または（M/A）にセットする**
2 **フォーカス作動設定スイッチを（AF-ON）にセットする**
3 **フォーカス作動ボタンを押してピントを合わせ、撮影する**
・フォーカス作動ボタンを押している間、オートフォーカスが動します。
・オートフォーカス作動はカメラ側でも行えます。

■ 被写界深度

・プレビュー（絞り込み）機能を持つカメラでは、撮影前にファインダーがで被写界深度を確認できます。

■ 絞り値の設定

・絞り値は、カメラ側で設定してください。
・絞り値によっては、連続撮影速度が低下する場合があります。

■ 手ブレ補正機能

手ブレ補正機能を使用すると、使わないときと比べて 4.0 段（NORMAL モード使用時）シャッタースピードを遅くして撮影できるため、シャッタースピードの選択範囲が広がります。

※GPA 規格準拠。ただし、FX フォーマット対応レンズは FX フォーマットデジタル一眼レフ使用時、DX レンズは DX フォーマットデジタル一眼レフ使用時、ズームレンズは最も望遠側で測定。

手ブレ補正スイッチの使い方

OFF：手ブレ補正をしません。

NORMAL：シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正を開始します。手ブレ補正効果が高く、静止している被写体を撮影する時などに適しています。

SPORT：シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正を開始します。スポーツなど動きの激しい被写体を撮影する場合に適しています。

手ブレ補正使用時のご注意

・シャッターボタンを半押し後、ファインダー像が安定してから撮影することをおすすめします。
・手ブレ補正の原理上、シャッターリリース後にファインダー像がわずかに動くことがありますが、異常ではありません。
・流し撮りには、NORMAL モードと SPORT モードのどちらも対応していますが、SPORT モードによりよくとおすすめします。
・NORMAL モードまたは SPORT モードで流し撮りなどをしてカメラの向きを大きく変えた場合、流し方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、横方向に流し撮りすると、縦方向の手ブレ補正が機能します。
・手ブレ補正中にカメラの電源をOFF にしたり、レンズを取り外したりしないでください（その状態でレンズを装着したカメラが放置されることがあります。故障であるおそれあり。カメラの電源スイッチを再度 ON にすれば、直ぐ消えます）。
・内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュの充電中は、手ブレ補正は行いません。
・三脚撮影時に NORMAL モードまたは SPORT モードにすると、三脚ブレを軽減します。ただし、三脚の種類や使用方法によって、OFF にしたほうが良い場合があります。
・一般を使用するときは、NORMAL モードまたは SPORT モードにすることをおすすめします。

日本語

ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みのと、正しくお使いください。また、カメラの使用説明書もご覧ください。

・DX フォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ（D7200、D5500 など）に装着すると、対角線画角 31°（とおよそ、35 mm 判換算で焦点距離約 750 mm 相当のレンズになります。

■ 安全上のご注意

傷害や損害などに「事故を未然に防止するため、本製品をお使いになるまえに「安全上のご注意」をよくお読みになってよくしておいてください。この説明書をお読みになった後は、いつでも使用できるように保管してください。

警告（死にまたは重傷を与える可能性が高い事項）

注意（傷害や物的損害を与える可能性が高い事項）

図記号の例

禁止（してはいけないこと）の図記号です。

実行（必ずすべきこと）の図記号です。

⚠ 警告

禁止 **分解、修理または改造をしない**

禁止 **落下などによって破損し、内部が露出したら、露出部に手を触れない**
感電やけがの原因になります。
熱くなる、煙が出る、異け臭いなどの異常時は、直ちにカメラの電源（電池やACアダプター）を取り外す
禁止 放置すると、発火、やけどの原因になります。
電源を取り外す前、やけどに防止注意してください。
ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水でぬらさない
禁止 **ぬれた手でさわらない**
感電や発火の原因になります。
狭く・換気のおそれのある場所では使わない
禁止 プロパンガス、ガソリンスタンドなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使うと、発火や爆発の原因になります。
レンズまたはカメラで直接太陽や強いLEDを見ない
失明や視力障害の原因になります。

⚠ 注意

禁止 **幼児の手の届くところに置かない**
ケガや誤飲の原因になります。
逆光撮影では、太陽を画角から外すにする
禁止 **使わないときは、レンズまたはキャップをはめる、太陽光のあたらない状態に保管する**
太陽光が集光されると、発火の原因になります。
高温になる場所（夏場の車内や直射日光のあたる所）に放置しない
禁止 **バッテリやカメラが正しく使えなくなる**
故障や発火の原因になります。

■ 各部の名称

① ずれ止め凸
② フォーカス作動ボタン（フォーカスロック / メモリーリコール /AF 作動）
③ フォーカスリング
④ 距離目盛
⑤ 距離目盛基準線
⑥ レンズ回転式撮影標
⑦ レンズマーク
⑧ レンズマウントゴムリング
⑨ CPU 信号接点
⑩ 絞り込み式フォルダーホルダー
⑪ 絞り込みフォルダーホルダーつまみ
⑫ 羽の金具
⑬ 絞りレバー
⑭ 絞り込み式回転三脚座
⑮ フォーカスモード切換スイッチ
⑯ フォーカス制限切り換えスイッチ
⑰ 手ブレ補正スイッチ
⑱ フォーカス作動設定スイッチ（フォーカスロック / メモリーリコール /AF 作動）
⑲ 電子音スイッチ
⑳ メモリーセットボタン
㉑ セキュリティーフォーカス（盗難防止用 セキュリティーイヤー取り付け部）
㉒ フード
㉓ クランプノブ
㉔ 一脚座（交換用）

■ 使用できるカメラ

このレンズは、次のカメラで使用できます。

D4 シリーズ、D3 シリーズ、DF、D810 シリーズ、D800 シリーズ、D750、D700、D610、D600、D300 シリーズ、D7200、D7100、D7000、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、D3300、D3200、D3100

・使用可能なカメラに関する最新情報は、最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください。

■ ピント合わせの方法

撮影目的によって、下表のようなピント合わせが選択できます。

・カメラのフォーカスモードについては、カメラの使用説明書をご覧ください。

カメラのフォーカスモード	レンズのフォーカスモード		
	A/M	M/A	M
AF	オート優先 オートフォーカス	マニュアル優先 オートフォーカス	マニュアルフォーカス （フォーカスエイド可）
MF	マニュアルフォーカス（フォーカスエイド可）		

■ レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

・レンズをカメラから取り外すと、ゴミが侵入する恐れがあります。レンズの取り外しは、レンズキャップを取り付けるか、太陽光のあたらない所に保管してください。
・レンズ内部にゴミが侵入しないように、カメラ取り外しの際は、カメラ（マウント部）が装着されたままにしておくか、ボディにボディキャップを取り付けてください。
・フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
・CPU 信号接点は汚れないように注意してください。
・レンズマウントゴムリングが破損した場合は、その本体使用は安全性の観点からニコンサービス機関に修理を依頼してください。
・レンズ面の清掃は、ホコリ出しから程度にしてください。
・レンズ面に指紋がついたときは、柔らかい清潔な未使用のガーゼ、または市販のレンズクリーニングペーパーを使用してください。エタノール、または市販のレンズクリーナーで湿らせ、レンズの中心から外周へ一直線を描くように、拭きとり、拭き残りがないように注意して拭いてください。汚れひどい場合は、柔らかい布を少量の清水、無水アルコール（エタノール）、または市販のレンズクリーナーで湿らせ、軽く拭き取ってください。フッ素コート加工されたレンズ面は、撥水性、撥油性が高いため、水滴や油が拭き残りが生じることがあります。その場合、軟らかい布で拭き取ってください。
・シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
・レンズをケースに入れるときは、必ずカバ付ボックスケースなどに入れてください。
・レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところ

English

Before using this product, please carefully read both these instructions and the camera manual.

Note: When mounted on a DX-format digital single-lens reflex camera such as the D7200 or D5500, this lens has an angle of view of 3° 10' and a focal length equivalent to 750 mm (35 mm format).

For Your Safety

⚠ WARNINGS

・***Do not disassemble or modify***. In the event of malfunction, the product should be repaired only by a qualified technician. Should the product break open as the result of a fall or other accident, avoid touching exposed parts. Failure to observe these precautions could result in electric shock or other injury.

・***Turn the camera off immediately in the event of malfunction***. Should you notice smoke or an unusual smell coming from the equipment, immediately unplug the AC adapter and remove the camera battery, taking care to avoid burns. Continued operation could result in fire or injury. After removing the battery, take the equipment to a Nikon-authorized service center for inspection.

・***Keep dry***. Do not expose the product to rain or water or handle with wet hands. Failure to observe this precaution could result in fire or electric shock.

・***Do not use in the presence of flammable gas***. Operating the equipment at filling stations or in the presence of propane or other flammable gas or dust could result in explosion or fire.

・***Do not look at the sun through the lens or the camera viewfinder***. Viewing the sun or other bright light source through the lens or viewfinder could cause permanent visual impairment.

⚠ CAUTIONS

・***Keep out of reach of children***. Failure to observe this precaution could result in injury or product malfunction.

・***Do not focus sunlight through the lens***. Sunlight focused through the lens could cause fire. When shooting backlit subjects keep the sun well out of the frame; if the lens will not be used for an extended period, replace the lens caps and store out of direct sunlight.

・***Do not overheat***. Do not leave the product in locations exposed to extremely high temperatures, such as in an enclosed vehicle in direct sunlight, or wrap the product in a towel or handkerchief or otherwise cover the product while it is in use. Failure to observe these precautions could result in fire or product malfunction.

Notice for Customers in Canada

CAN ICES-3 (B) / NMB-3 (B)

■ Parts of the Lens

① Rubber grip
② Focus function button (focus lock/memory recall/AF start)
③ Focus ring
④ Focus distance indicator
⑤ Focus distance mark
⑥ Lens rotation index
⑦ Lens mounting mark
⑧ Rubber lens-mount gasket
⑨ CPU contacts
⑩ Slip-in filter holder
⑪ Slip-in filter holder screw
⑫ Strap eyelet
⑬ Tripod collar ring attachment screw
⑭ Built-in rotating tripod collar
⑮ Focus-mode switch
⑯ Focus limit switch
⑰ Vibration reduction switch
⑱ Focus function selector (AF-L/MEMORY RECALL/AF-ON)
⑲ Beep on/off switch
⑳ Memory set button
㉑ Security slot (for security cable lock)
㉒ Lens hood
㉓ Lens hood screw
㉔ Replaceable monopod collar

■ Compatibility

This lens can be used with D4-series, D3-series, DF, D810-series, D800-series, D750, D700, D610, D600, D300-series, D7200, D7100, D7000, D5500, D5300, D5200, D5100, D5000, D3300, D3200, and D3100 cameras. For up-to-date information on compatible cameras, see our latest catalogs or visit the Nikon website for your area.

■ Focus

Supported focus modes are shown in the following table (for information on camera focus modes, see the camera manual).

Camera focus mode	Lens focus mode		
	A/M	M/A	M
AF	Autofocus with manual override (AF priority)	Autofocus with manual override (manual priority)	Manual focus with electronic rangefinder
MF	Manual focus with electronic rangefinder		

M/A and A/M Modes

M/A: Autofocus can be over-ridden by rotating the lens focus ring.
A/M: As above, except that the focus ring must be rotated farther before autofocus is over-ridden, preventing accidental changes to focus caused by unintended operation of the focus ring.

1 Slide the lens focus-mode switch to **A/M** or **M/A**.
2 Focus.
If desired, autofocus can be over-ridden by rotating the lens focus ring while the shutter-release button is pressed halfway (or if the camera is equipped with an **AF-ON** button, while the **AF-ON** button is pressed, or if the focus function selector is set to **AF-ON**, while pressing a focus function button). To refocus using autofocus, press the shutter-release button halfway or press the **AF-ON** or focus function button again.

The Focus Limit Switch

This switch determines the focus distance limits for autofocus.

FULL: Select this option to use the entire focus range.
∞–8 m: If your subject will always be at distance of at least 8 m (26.3 ft), select this option for faster focusing.

■ The Focus Function Buttons and Selector

The function assigned to the focus function buttons can be selected using the focus function selector.

Focus function selector	Focus function button
AF-L	Focus lock
MEMORY RECALL	Memory recall
AF-ON	Lens AF start

The assigned function can be performed by pressing any of the four function buttons. The focus buttons can be rotated to a new position; for more information, contact Nikon-authorized service personnel.

Focus Lock (AF-L)

Focus lock is only available with autofocus.

1 Slide the lens focus-mode switch to **A/M** or **M/A**.
2 Slide the focus function selector to **AF-L**.
3 Lock focus.
Focus can be locked by pressing any of the focus function buttons and remains locked while the button is pressed. Focus can also be locked using camera controls.

Memory Recall

Save and recall frequently-used lens focus positions.

Saving Focus Positions

1 Slide the beep on/off switch to ♪.
2 Focus.
3 Press the memory set button.
This operation can be performed in any focus mode regardless of the position of the focus function selector. A beep will sound if the operation is successful. If the operation fails, the focus distance indicator will revoke back and forth some ten times and the lens will sound a short beep followed by three long beeps; focus and press the memory set button again. The stored distance is not deleted if the camera is turned off or the lens is detached.

Using Stored Focus Positions

1 Slide the focus function selector to **MEMORY RECALL**.
2 Recall the stored focus distance.
Press any of the focus function buttons to focus at the stored distance. The camera will refocus at the stored distance even when the shutter-release button is pressed halfway; normal focus is restored when the focus function button is released. Keep the focus function button pressed until the photograph is taken.

The Beep on/off Switch

The beep on/off switch can be used to enable or mute the beep that sounds during memory set and recall operations.

♪: Beep enabled.
🔇: Beep muted.

AF Start (AF-ON)

1 Slide the lens focus-mode switch to **A/M** or **M/A**.
2 Slide the focus function selector to **AF-ON**.
3 Focus.
Press any of the focus function buttons to focus using autofocus. You can also focus using camera controls.

■ Depth of Field

If the camera offers depth-of-field preview (stop down), depth of field can be previewed in the viewfinder.

■ Aperture

Aperture is adjusted using camera controls. The frame rate may drop at some apertures.

Français

Avant de l'utiliser, veuillez lire attentivement ces instructions et le manuel de l'appareil photo.

Remarque : lorsqu'il est monté sur un reflex numérique de format DX, comme le D7200 ou le D5500, cet objectif a un angle de champ de 3° 10' et une focale équivalente à 750 mm (format 24x36 mm).

Pour votre sécurité

⚠ AVERTISSEMENTS

・***Ne démontez pas ou ne modifiez pas le produit***. En cas de dysfonctionnement, ce produit ne doit être réparé que par un technicien qualifié. Si ce produit se casse suite à une chute ou à un autre accident, évitez de toucher les parties exposées. Le non-respect de ces consignes de sécurité peut provoquer un choc électrique ou d'autres blessures.

・***Éteignez immédiatement, mettez immédiatement l'appareil photo hors tension***. En cas d'apparition de fumée ou d'une odeur inhabituelle provenant du matériel, débranchez immédiatement l'adaptateur secteur et retirez l'accumulateur de l'appareil photo, en faisant attention de ne pas vous brûler. Continuer d'utiliser le matériel risque de provoquer un incendie ou des blessures. Une fois l'accumulateur retiré, apportez votre matériel à un centre Nikon agréé pour le faire contrôler.

・***Gardez le produit au sec***. N'exposez pas ce produit à l'eau ou ne le manipulez pas avec les mains mouillées. Le non-respect de cette consigne de sécurité peut provoquer un incendie ou un choc électrique.

・***N'utilisez pas le matériel en présence de gaz inflammables***. La manipulation du matériel dans des stations-service ou en présence de propane, d'autres gaz inflammables ou de poussière peut provoquer une explosion ou un incendie.

・***Ne regardez pas le soleil à travers l'objectif ou le viseur de l'appareil photo***. L'observation du soleil ou de toute autre source lumineuse à travers l'objectif ou le viseur peut provoquer des troubles irrémédiables de la vision.

⚠ MISES EN GARDE

・***Conservez hors de portée des enfants***. Le non-respect de cette consigne de sécurité peut provoquer des blessures ou le dysfonctionnement du produit.

・***Ne focalisez pas les rayons du soleil à travers l'objectif***. Les rayons du soleil focalisés à travers l'objectif peuvent provoquer un incendie. Lorsque vous photographiez des sujets à contre-jour, maintenez le soleil loin du cadre ; si vous n'avez pas l'intention d'utiliser l'objectif avant longtemps, remettez en place ses bouchons et rangez-le à l'abri de la lumière directe du soleil.

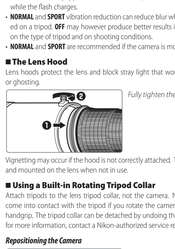
・***Ne surchauffez pas le produit***. Ne laissez pas ce produit dans des lieux exposés à des températures très élevées, comme dans une voiture fermée en plein soleil. N'emballez pas ce produit dans une serviette, un mouchoir ou ne le recouvrez pas de quelque manière que ce soit lorsque vous l'utilisez. Le non-respect de ces consignes de sécurité peut provoquer un incendie ou le dysfonctionnement du produit.

Avis pour les Clients au Canada

CAN ICES-3 (B) / NMB-3 (B)

■ Parties de l'objectif

① Grip en caoutchouc
② Commande de fonction MAP (Mise Au Point) (mémorisation de la mise au point/rappel de mémoire/ activation de l'AF)
③ Bague de mise au point
④ Indicateur de distance de mise au point
⑤ Repère de distance de mise au point
⑥ Repère de rotation de l'objectif
⑦ Repère de montage de l'objectif
⑧ Joint en caoutchouc de la monture d'objectif
⑨ Contacts de microprocesseur
⑩ Porte-filtre à vanne
⑪ Vis du porte-filtre à vanne
⑫ Œillet pour courroie
⑬ Vis de fixation du collier pour trépied
⑭ Collier pour trépied rotatif intégré
⑮ Commutateur du mode de mise au point
⑯ Commutateur de la limite de mise au point
⑰ Commutateur de réduction de vibration
⑱ Sélecteur de fonction MAP (Mise Au Point) (AF-L/MEMORY RECALL/AF-ON)
⑲ Commutateur de signal sonore
⑳ Commande de réglage mémoire
㉑ Encoche de sécurité (pour verrou de câble de sécurité)
㉒ Parasoleil
㉓ Vis du parasoleil
㉔ Collier amovible pour monopode



Fully tighten the hood screw ❷.

Vignetting may occur if the hood is not correctly attached. The hood can be reversed and mounted on the lens when not in use.

■ Using a Built-in Rotating Tripod Collar

Attach tripods to the lens tripod collar, not the camera. Note that your hand may come into contact with the tripod if you rotate the camera while holding it by the handgrip. The tripod collar can be detached by undoing the tripod collar lock screw; for more information, contact a Nikon-authorized service representative.

Repositioning the Camera

Loosen the tripod collar ring attachment screw ❶; match the lens rotation index ❷ to the camera orientation, and then tighten the screw ❶.

The Monopod Collar

The supplied replaceable monopod collar can be used in place of the tripod collar. After replacing the collar, be sure the collar lock is fully tightened. Failure to observe this precaution could result in damage to the lens or camera.

■ The Security Slot

The security slot can be used to attach third-party security cable locks. For more information, see the documentation provided with the security cable lock.

■ Filters

When taking photographs with the slip-in filter holder, be sure a filter is inserted. The holder comes with a neutral color (NC) filter in place.

Inserting Filters

1 Unlock the holder.
Press the slip-in filter holder screw down and rotate counterclockwise until the white line is at a right angle to the axis of the lens.
2 Remove the slip-in filter holder.
3 Remove the supplied filter.
4 Screw a 40.5 mm screw-on filter into the side of the holder marked "Nikon" and "JAPAN".
The holder can then be reinserted facing either the subject or camera.

Using an Optional Slip-in C-PL405 Circular Polarizing Filter

The C-PL405 blocks unwanted reflections from glass, water, and other non-metallic surfaces. The slip-in filter holder is not required; when using the filter, be sure that it is securely attached and be aware that it is not dust- or splash-proof. Note that using a C-PL405 slightly increases the minimum focus distance and shifts the focus distance from that shown by the focus distance indicator. When using memory recall, be sure to attach the filter before storing the focus position.
Do not leave the C-PL405 for long periods in direct sunlight or in locations that are exposed to excessive humidity or high temperatures.

■ Lens Care

・The lens returns to maximum aperture when removed from the camera. To protect the interior of the lens, store it out of direct sunlight or replace the lens cap.
・Always support the lens when holding the camera. Failure to observe this precaution could damage the lens mount.
・Do not pick up or hold the lens or camera using only the lens hood.
・Keep the CPU contacts clean.
・Should the rubber lens-mount gasket be damaged, cease use immediately and take the lens to a Nikon-authorized service center for repair.
・Use a blower to remove dust and lint from the lens surfaces.
・To remove smudges and fingerprints from glass surfaces, apply a small amount of ethanol or lens cleaner to a soft, clean cotton cloth or lens-cleaning tissue and clean from the center outwards using a circular motion, taking care not to leave smears or touch the glass with your fingers.
・The fluorine-coated front element can be cleaned simply by wiping it with a dry cloth. Smudges and fingerprints can be removed using a soft, clean cotton cloth or lens cleaning tissue; clean from the center outwards using a circular motion, taking care not to leave smears or touch the glass surface with your fingers. To remove stubborn stains, wipe gently using a soft cloth dampened with a small amount of distilled water, ethanol, or lens cleaner. Drop-shaped stains on the water- and oil-repellent fluorine-coated element can be removed with a dry cloth.
・Never use organic solvents such as paint thinner or benzene to clean the lens.
・Attach the rear and slip-on front caps before placing the lens in its lens case.
・If the lens will not be used for an extended period, store it in a cool, dry location to prevent mold and rust. Do not store in direct sunlight or with naphtha or camphor moth balls.
・Keep the lens dry. Rusting of the internal mechanism can cause irreparable damage.
・Leaving the lens in extremely hot locations could damage or warp parts made from reinforced plastic.
・Creases will form if the supplied slip-on front cap is folded, but this does not prevent the cap from being used.
・Do not sit or stand on the case.
・Nikon does not accept liability for damage to or theft of devices protected by security cables.

■ Supplied Accessories

・Slip-on front lens cap
・Rear Lens Cap LF-4
・Lens Hood HK-34
・Slip-in filter holder
・40.5 mm screw-in NC filter
・Strap LN-2
・Heavy duty case CT-505
・Monopod collar

■ Compatible Accessories

・40.5 mm screw-on filters
・Slip-in circular polarizing filter C-PL405
・AF-I/AF-S Teleconverters TC-14E /TC-14E II /TC-14E III/TC-17E II /TC-20E /TC-20E II / TC-20E III

■ Specifications

Type	Type E AF-S lens with built-in CPU and F mount
Focal length	500 mm
Maximum aperture	f/4
Lens construction	16 elements in 12 groups (including 3 ED lens elements, 2 fluorite elements, and lens elements with Nano-Crystal coatings) and 1 protective glass element (with fluorine coating)
Angle of view	• Nikon FX-format D-SLR cameras: 5° 00' • Nikon DX-format D-SLR cameras: 3° 10'
Distance information	Output to camera
Focusing	Nikon Internal Focusing (IF) System with autofocus controlled by Silent Wave Motor and separate focus ring for manual focus
Vibration reduction	Lens shift using voice coil motors (VCMs)
Focus distance indicator	3.6 m – ∞
Minimum focus distance	3.6 m (11.9 ft) from focal plane
Diaphragm blades	9 (rounded diaphragm opening)
Diaphragm	Automatic electronic aperture control
Aperture range	f/4 – 22
Metering	Full aperture
Focus limit switch	Two positions: FULL (∞ – 3.6 m) and ∞ – 8 m
Dimensions	Approx. 140 mm maximum diameter × 387 mm (distance from camera lens mount flange)
Weight	Approx. 3090 g (6 lb 13 oz)

Nikon reserves the right to change the specifications of the hardware described in this manual at any time and without prior notice.

・**Profondeur de champ**
Si l'appareil photo dispose d'une fonction d'aperçu de la profondeur de champ, il est possible de prévisualiser cette dernière dans le viseur.

・**Ouverture**
Réglez l'ouverture à l'aide des commandes de l'appareil photo. La cadence de prise de vue peut ralentir à certaines ouvertures.

・**Réduction de vibration (VR)**
La fonction de réduction de vibration (VR) atténue les phénomènes de flou provoqués par le bougé de l'appareil photo, ce qui permet de recourir à des vitesses d'obturation jusqu'à 4.0 fois plus lentes que celles normalement utilisées et d'augmenter ainsi le nombre de vitesses possibles. Les effets de la fonction VR sur la vitesse d'obturation sont mesurés en mode NORMAL selon les normes de la CIPA (Camera and Imaging Products Association) ; les mesures des objectifs de format FX sont effectuées à l'aide d'appareils photo numériques de format FX, celles des objectifs de format DX à l'aide d'appareils photo de format DX. Les mesures des zooms sont effectuées en position de zoom maximale.

Utilisation du commutateur de réduction de vibration

・**Sélectionnez OFF** pour désactiver la réduction de vibration.
・**Sélectionnez NORMAL** pour optimiser la réduction de vibration lorsque vous photographiez des sujets immobiles. La réduction de vibration active lorsque vous appuyez sur le déclencheur à mi-course.
・**Sélectionnez SPORT** lorsque vous photographiez des athlètes et d'autres sujets qui se déplacent rapidement et de façon imprévisible. La réduction de vibration active lorsque vous appuyez sur le déclencheur à mi-course.

Utiliser la réduction de vibration : Remarques

・Lorsque vous utilisez la réduction de vibration, appuyez sur le déclencheur à mi-course et attendez que l'image se stabilise dans le viseur avant d'appuyer sur le déclencheur jusqu'au fin de course.
・Lorsque la réduction de vibration est activée, l'image dans le viseur peut être floue une fois le déclencheur relâché. Cela n'indique pas un dysfonctionnement.
・Le réglage **SPORT** est recommandé pour effectuer des clichés panoramiques, bien qu'il soit aussi possible d'utiliser le réglage **NORMAL**.
・En modes **NORMAL** et **SPORT**, la réduction de vibration s'applique uniquement au mouvement le faisant pas partie du flé (par exemple, si l'appareil photo est utilisé pour faire un flé horizontal, la réduction de vibration ne s'applique qu'au tremblement vertical).
・Ne mettez pas l'appareil photo hors tension et ne retirez pas l'objectif pendant que la réduction de vibration est activée. Si l'alimentation de l'objectif est coupée alors que la réduction de vibration est activée, l'objectif peut vibrer s'il est secoué. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement et cela peut être corrigé en refixant l'objectif et en mettant l'appareil photo sous tension.
・Si l'appareil photo est équipé d'un flash intégré, la réduction de vibration est désactivée pendant que le flash se charge.
・Les réglages **NORMAL** et **SPORT** peuvent atténuer l'effet de flou observé lorsque l'appareil photo est fixé sur un trépied. Le réglage **OFF** peut néanmoins produire de meilleurs résultats dans certains cas, selon le type de trépied et les conditions de prise de vue.
・Les réglages **NORMAL** et **SPORT** sont recommandés si l'appareil photo est fixé sur un monopode.

■ Paraoleil

Le paraoleil protège l'objectif et bloque la lumière diffuse pouvant causer de la lumière parasite ou une image fantôme.

Serrez à fond la vis du parasoleil ❷.

Un vignettage peut se produire si le parasoleil n'est pas fixé correctement. Le parasoleil peut être retourné et monté sur l'objectif lorsqu'il n'est pas utilisé.

■ Utilisation d'un collier pour trépied rotatif intégré

Fixez le trépied au collier pour trépied de l'objectif et non à l'appareil photo. Notez que votre main peut entrer en contact avec le trépied si vous tournez l'appareil photo tout en le tenant par sa poignée. Retirez le collier pour trépied en dévissant sa vis de verrouillage ; pour plus d'infos, contactez un représentant Nikon agréé.

Repositionnement de l'appareil photo

Desserrez la vis de fixation du collier pour trépied ❶, faites correspondre le repère de rotation de l'objectif ❷ à l'orientation de l'appareil photo, puis serrez la vis ❶.

Collier pour monopode

Le collier pour monopode amovible (fourni) peut être utilisé à la place du collier pour trépied. Après avoir changé de collier, veillez à ce que celui-ci soit bien verrouillé. Le non-respect de cette mise en garde risque d'endommager l'objectif ou l'appareil photo.

■ Encoche de sécurité

L'encoche de sécurité permet de fixer des verrous de câble de sécurité disponibles auprès d'autres fabricants. Pour en savoir plus, reportez-vous à la documentation fournie avec le verrou de câble de sécurité.

■ Filtres

Lorsque vous photographiez avec le porte-filtre à vanne, vérifiez qu'un filtre est inséré. Le porte-filtre est doté en standard d'un filtre neutre (**NC**).

Insertion de filtres

1 Déverrouillez le porte-filtre.
Appuyez sur la vis du porte-filtre à vanne et tournez-la dans le sens inverse des aiguilles d'une montre jusqu'à ce que la ligne blanche forme un angle droit avec l'axe de l'objectif.
2 Retirez le porte-filtre à vanne.
3 Retirez le filtre fourni.
4 Vissez un filtre à vis 40,5 mm dans le porte-filtre **(du côté où sont indiqués « Nikon » et « JAPAN »).**
Vous pouvez ensuite réinsérer le porte-filtre, de façon à ce qu'il soit face au sujet ou à l'appareil photo.

Utilisation d'un filtre polarisant circulaire à embobinement C-PL405 (en option)

Le C-PL405 bloque les reflets parasites provenant du verre, de l'eau et des surfaces non métalliques. Le porte-filtre à embobiner n'est pas nécessaire ; lorsque vous utilisez le filtre, veillez à ce qu'il soit fixé correctement ; notez également qu'il n'est ni étanche à la poussière ni aux éclaboussures. Notez que l'utilisation d'un C-PL405 augmente légèrement la distance de mise au point minimale et que la distance de mise au point signalée par l'indicateur peut légèrement différer. Lors de l'utilisation de la fonction de rappel de mémoire, pensez à installer le filtre avant d'enregistrer la position de mise au point.
Ne laissez pas le CP-PL405 longtemps à la lumière directe du soleil ou dans des lieux exposés à une humidité excessive ou à des températures élevées.

■ Sélecteur et commandes de fonction MAP

La fonction attribuée aux commandes de fonction MAP peut être sélectionnée à l'aide du sélecteur de fonction MAP.

Sélecteur de fonction MAP	Commande de fonction MAP
AF-L	Mémorisation de la mise au point
MEMORY RECALL	Rappel de mémoire
AF-ON	Activation de l'AF de l'objectif

Pour utiliser la fonction programmée, appuyez sur l'une des quatre commandes de fonction. Ces commandes peuvent être positionnées ailleurs ; pour en savoir plus, contactez le service après-vente Nikon.

Mémorisation de la mise au point (AF-L)

La mémorisation de la mise au point est uniquement disponible avec l'autofocus.

1 Positionnez le commutateur du mode de mise au point sur **A/M** ou **M/A**.
2 Positionnez le sélecteur de fonction MAP sur **AF-L**.
3 Mémorisez la mise au point.
La mise au point peut être mémorisée à l'aide de n'importe quelle commande de fonction MAP et le restera tant que vous appuyez sur cette commande. Il est également possible de mémoriser la mise au point à l'aide des commandes de l'appareil photo.

Rappel de mémoire

Enregistrez et sélectionnez des positions de mise au point souvent utilisées.

Enregistrement des positions de mise au point

1 Positionnez le commutateur du signal sonore sur ♪.
2 Effectuez la mise au point.
3 Appuyez sur la commande de réglage mémoire.
Vous pouvez effectuer cette opération avec tout mode de mise au point, quelle que soit la position du sélecteur de fonction MAP. Un signal sonore est émis si l'opération a fonctionné. Si ce n'est pas le cas, l'indicateur de distance de mise au point se déplace de gauche à droite puis de droite à gauche une dizaine de fois et l'objectif émet un bip bref suivi de trois longs bips ; refaites le point et appuyez à nouveau sur la commande de réglage de mémoire. La distance enregistrée n'est pas supprimée lors de la m

Nikon

NIKKOR

AF-S NIKKOR 500mm f/4E FL ED VR

Sc 使用说明书
Pb Manual do usuário
Kr 사용설명서
Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation
Es Manual del usuario

NIKON CORPORATION

CE

中文版（简体）　　保留备用

使用产品前请仔细阅读本使用说明书。

在使用本产品前，请仔细阅读这些指南和相关的说明书。

注意：当安装在一台DX格式数码单镜反光照相机（例如D7200或D5500）上时，该镜头的视角为3°10′且焦距相当于750mm（35mm格式）。

安全须知

为预防发生伤害、损失或其他事故，请在使用本产品前仔细阅读“安全须知”，并以正确的方法使用。请在阅读之后妥善保管本说明书，以便随时查阅。

⚠ 警告（有可能造成人员死亡或负重伤的事项）

⚠ 注意（有可能造成人身伤害或物品损害的事项）

图示和符号说明

⃠ 禁止（不允许进行的行为）符号。

❗ 执行（必须进行的行为）符号。

⚠ 警告

⃠ 禁止 切勿自行拆解、修理或改装。

⃠ 禁止 当产品由于跌落而被损使得内部外露时，切勿用手触碰外露部件。
否则将会导致触电或受伤。

⃠ 禁止 当发现产品变热、冒烟或发出焦味等异常时，请立刻取出照相机中的电池或切断照相机电源（电源适配器）。
若放任不管，将会导致起火或烧伤。
取出电池或切断电源时，请小心勿被烫伤。
请委托尼康授权的维修服务中心进行修理。

切勿使产品被水淋湿。

⃠ 禁止 勿用湿手触碰。
否则将导致触电或受伤。

切勿在有可能起火、爆炸的场所使用。

⃠ 禁止 在液化石油气站、汽油加油站等会产生易燃性气体、粉尘的场所使用产品，将会导致起火或爆炸。

⃠ 禁止 切勿使用镜头或照相机直接观看太阳或强光。
否则将会导致失明或视觉损伤。

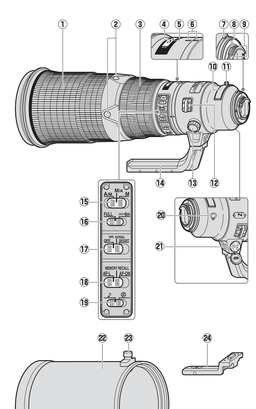
⚠ 注意

❗ 执行 切勿在婴幼儿伸手可及之处保管本产品。
否则将会导致受伤或窒息。

❗ 执行 进行胃光拍摄时，务必使太阳完全消失。
不使用时，请盖上镜头盖，或者存放在没有阳光照射处。
阳光会聚焦，并将导致起火。

切勿置于高温的地方（如夏天封闭的车内或直射阳光下）。

⃠ 禁止 切勿将产品用手帕或毛巾包裹着使用。
否则将会导致故障或起火。



■ 镜头部件

① 橡胶手柄
② 对焦功能按钮（对焦锁定/调用记忆/AF启用）
③ 对焦环
④ 对焦距离指示
⑤ 对焦距离标记
⑥ 镜头旋转环
⑦ 镜头安装标记
⑧ 镜头卡口橡胶垫圈
⑨ CPU接点
⑩ 插入式滤镜支架
⑪ 插入式滤镜支架齿圈
⑫ 吊带孔
⑬ 三脚架固定环安装齿圈
⑭ 内置旋转式三脚架固定座
⑮ 对焦模式切换器
⑯ 对焦限制切换器
⑰ 减震开关
⑱ 对焦功能选择器（AF-L/MEMORY RECALL/AF-ON）
⑲ 蜂鸣音开启/关闭开关
⑳ 记忆设定按钮
㉑ 安全槽（用于安全线锁扣）
㉒ 镜头遮光罩
㉓ 镜头遮光罩齿圈
㉔ 可更换单脚架固定环

■ 兼容性

本镜头适用于D4系列、D3系列、Df、D810系列、D800系列、D750、D610、D600、D300系列、D7200、D7100、D7000、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、D3300、D3200和D3100。有关兼容照相机的最新信息，请参阅我们最新的产品目录或访问本地尼康网站。

■ 对焦

所支持的对焦模式如下表所示（有关照相机对焦模式的信息，请参阅照相机使用说明书）。

照相机对焦模式	镜头对焦模式		
	A/M	M/A	M
AF	手动优先的自动对焦（AF优先）	手动优先的自动对焦（手动优先）	带有电子测距仪的手动对焦
MF	带有电子测距仪的手动对焦		

A/M和M/A模式

- **M/A**：通过旋转镜头对焦环可使手动对焦优先于自动对焦。
- **A/M**：手动对焦优先于自动对焦之前必须继续旋转对焦环，从而防止因无意间操作对焦环而引起对焦意外改变，除此之外，其他与上述相同。

1 将镜头对焦模式切换器推至**A/M**或**M/A**。

2 对焦。
如有需要，您可在半按快门释放按钮期间（或者，若照相机配备有一个**AF-ON**按钮，则在按下**AF-ON**按钮期间：若对焦功能选择器设为**AF-ON**，便是在按下对焦功能按钮期间）旋转镜头对焦使手动对焦优先于自动对焦。若要使用自动对焦以重新对焦，请半按快门释放按钮或者再次按下**AF-ON**按钮或对焦功能按钮。

对焦限制切换器

该切换器决定自动对焦的对焦距离极限值。

- **FULL**（全部）：选择该选项可使用整个对焦范围。
- **∞–8 m**：若拍摄对象总是位于至少8 m的距离处，选择该选项可获得更快的对焦。

■ 对焦功能按钮和选择器

使用对焦功能选择器可选择指定给对焦功能按钮的功能。

对焦功能选择器	对焦功能按钮
AF-L	对焦锁定
MEMOEY RECALL	调用记忆
AF-ON	镜头AF启用

按下4个功能按钮中的任意一个即可执行指定的功能。对焦按钮可旋转至新的位置；有关详细信息，请与尼康授权的服务人员联系。

■ 景深

若照相机支持景深预览（光圈缩小），景深可在取景器中进行预览。

■ 光圈

请使用照相机控制调整光圈。在某些光圈下，每秒幅数可能会降低。

■ 减震（VR）

减震（VR）可减少照相机震动所引起的模糊，从而使快门速度可比一般情况时最多降低4级。同时增加可用快门速度的范围，减震对快门速度的影响是在**NORMAL**（标准）模式下根据相机影像器材工业协会（CIPA）标准所测量：测量FX格式镜头时使用的是FX格式数码照相机，测量DX格式镜头时使用的是DX格式照相机。变焦镜头是在最大变焦设定下进行的测量。

使用减震开关

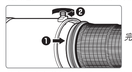
- 选择**OFF**（关闭）可关闭减震。
- 选择**NORMAL**（标准）可在拍摄静止拍摄对象时增强减震。半按快门释放按钮时减震生效。
- 选择**SPORT**（运动）可拍摄运动员和其他正在进行迅速且不可预测运动的拍摄对象。半按快门释放按钮时减震生效。

使用减震：注意

- 使用减震时，请先半按快门释放按钮，然后待取景器中的图像稳定之后再完全按下快门释放按钮。
- 启用减震时，取景器中的图像在您释放快门后可能会变得模糊，这并非故障。
- 转动照相机进行拍摄时推荐使用**SPORT**（运动）。但同时也支持**NORMAL**（标准）。
- 在**NORMAL**（标准）和**SPORT**（运动）模式下，减震仅应用于非转动部分的动作（例如，若照相机进行水平转动，减震将仅应用于垂直方向的震动）。
- 减震处于有效状态时，请勿关闭照相机，也不要取下镜头。若在减震处于有效状态时切断镜头电源，镜头在摇动时将可能发出嗡嗡声。这并非故障，重新安装镜头并开启照相机即可解决该问题。
- 若照相机配备有内置闪光灯，闪光灯充电时减震将无法使用。
- **NORMAL**（标准）和**SPORT**（运动）减震可在照相机固定于三脚架时减少模糊，但是照搬三脚架类型和拍摄环境的不同，选择**OFF**（关闭）可能会产生更好的效果。
- 照相机固定于单脚架时推荐使用**NORMAL**（标准）和**SPORT**（运动）。

■ 镜头遮光罩

镜头遮光罩可保护镜头并阻挡可能导致眩光或鬼影的散射光线。



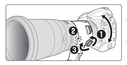
完全拧紧遮光罩齿圈（❷）。

若未正确安装好遮光罩，将可能会产生渐晕。不使用时，可将遮光罩反转并固定在镜头上。

■ 使用内置旋转式三脚架固定环

请将三脚架安装至镜头三脚架固定环而不是照相机。请注意，握住操作手柄旋转照相机时，您的手可能会触碰到三脚架。拧松三脚架固定环锁定齿圈可取下三脚架固定环：有关详细信息，请与尼康授权的维修服务中心联系。

重新定位照相机



拧松三脚架固定环安装齿圈（❶）。使镜头旋转标记（❷）与照相机方向一致，然后拧紧齿圈（❸）。

单脚架固定环

附送的可更换单脚架固定环可代替三脚架固定环使用。更换固定环之后，请确认固定环锁完全拧紧，否则可能会损坏镜头或照相机。

■ 安全槽

安全槽可用于安装第三方安全线锁扣。有关详细信息，请参阅安全线锁扣随附的文档。

对焦锁定（AF-L）

对焦锁定仅适用于自动对焦。

1 将镜头对焦模式切换器推至**A/M**或**M/A**。

2 将对焦功能选择器推至**AF-L**。

3 锁定对焦。
按下任一对焦功能按钮即可锁定对焦，按住到可保持锁定。使用照相机控制也可锁定对焦。

调用记忆

保存和启用常用镜头对焦位置。

保存对焦位置

1 将蜂鸣音开启/关闭开关滑至♪。

2 对焦。

3 按下记忆设定按钮。
长达对焦功能选择器处于何种位置，您都可在任何对焦模式下进行该操作。操作成功时会发出蜂鸣音。若操作失败，对焦距离指示将会来回循环大约10次，并且镜头将会发出1声短蜂鸣音。随后发出3声长蜂鸣音；请再次对焦并按下记忆设定按钮。若照相机已关闭或镜头被取下，保存的距离将不会删除。

使用保存的对焦位置

1 将对焦功能选择器推至**MEMOEY RECALL**。

2 调用存储的对焦距离。
按下一对焦功能按钮以调用存储的对焦距离。即使半按快门释放按钮，照相机也会以保存的距离重新对焦：释放对焦功能按钮时将恢复通常对焦。请保持按下对焦功能按钮直至拍摄完照片。

蜂鸣音开启/关闭开关

蜂鸣音开启/关闭开关可用于开启或关闭记忆设定和调用记忆操作过程中发出的蜂鸣音。

- ♪：蜂鸣音开启。
- 🔇：蜂鸣音关闭。

AF启用（AF-ON）

1 将镜头对焦模式切换器推至**A/M**或**M/A**。

2 将对焦功能选择器推至**AF-ON**。

3 对焦。
若要在取景器中进行预览，请按下景深预览按钮。若要停止预览，请再次按下景深预览按钮。

■ 光圈（VR）

减震（VR）可减少照相机震动所引起的模糊，从而使快门速度可比一般情况时最多降低4级。同时增加可用快门速度的范围，减震对快门速度的影响是在**NORMAL**（标准）模式下根据相机影像器材工业协会（CIPA）标准所测量：测量FX格式镜头时使用的是FX格式数码照相机，测量DX格式镜头时使用的是DX格式照相机。变焦镜头是在最大变焦设定下进行的测量。

使用减震开关

- 选择**OFF**（关闭）可关闭减震。
- 选择**NORMAL**（标准）可在拍摄静止拍摄对象时增强减震。半按快门释放按钮时减震生效。
- 选择**SPORT**（运动）可拍摄运动员和其他正在进行迅速且不可预测运动的拍摄对象。半按快门释放按钮时减震生效。

使用减震：注意

- 使用减震时，请先半按快门释放按钮，然后待取景器中的图像稳定之后再完全按下快门释放按钮。
- 启用减震时，取景器中的图像在您释放快门后可能会变得模糊，这并非故障。
- 转动照相机进行拍摄时推荐使用**SPORT**（运动）。但同时也支持**NORMAL**（标准）。
- 在**NORMAL**（标准）和**SPORT**（运动）模式下，减震仅应用于非转动部分的动作（例如，若照相机进行水平转动，减震将仅应用于垂直方向的震动）。
- 减震处于有效状态时，请勿关闭照相机，也不要取下镜头。若在减震处于有效状态时切断镜头电源，镜头在摇动时将可能发出嗡嗡声。这并非故障，重新安装镜头并开启照相机即可解决该问题。
- 若照相机配备有内置闪光灯，闪光灯充电时减震将无法使用。
- **NORMAL**（标准）和**SPORT**（运动）减震可在照相机固定于三脚架时减少模糊，但是照搬三脚架类型和拍摄环境的不同，选择**OFF**（关闭）可能会产生更好的效果。
- 照相机固定于单脚架时推荐使用**NORMAL**（标准）和**SPORT**（运动）。

■ 镜头遮光罩

镜头遮光罩可保护镜头并阻挡可能导致眩光或鬼影的散射光线。

完全拧紧遮光罩齿圈（❷）。

若未正确安装好遮光罩，将可能会产生渐晕。不使用时，可将遮光罩反转并固定在镜头上。

■ 使用内置旋转式三脚架固定环

请将三脚架安装至镜头三脚架固定环而不是照相机。请注意，握住操作手柄旋转照相机时，您的手可能会触碰到三脚架。拧松三脚架固定环锁定齿圈可取下三脚架固定环：有关详细信息，请与尼康授权的维修服务中心联系。

重新定位照相机

拧松三脚架固定环安装齿圈（❶）。使镜头旋转标记（❷）与照相机方向一致，然后拧紧齿圈（❸）。

单脚架固定环

附送的可更换单脚架固定环可代替三脚架固定环使用。更换固定环之后，请确认固定环锁完全拧紧，否则可能会损坏镜头或照相机。

■ 安全槽

安全槽可用于安装第三方安全线锁扣。有关详细信息，请参阅安全线锁扣随附的文档。

产品中有害物质的名称及含量							
标志	部件名称	有害物质					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
⑩	外壳	○	○	○	○	○	○
	机械元件	×	○	○	○	○	○
	光学元件	○	○	○	○	○	○
	电子元件	×	○	○	○	○	○

本表格依据SJ/T11364的规定编制。

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T26572规定的限量要求以下。

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T26572规定的限量要求。但是，以现有的技术条件要使照相机相关产品完全不含有上述有害物质极为困难，并且上述产品都包含在《关于电气电子设备中特定有含物质使用限制指令2011/65/EU》的豁免范围之内。

进口商：尼康映像仪器销售（中国）有限公司
（上海市茂名南路205号瑞金大厦22楼，200020）
尼康客户支持中心服务热线：400-820-1665
（周一至周日9:00–18:00，除夕下午休息）
http://www.nikon.com.cn/

在日本印刷
出版日期：2015年6月1日

■ 滤镜

当使用插入式滤镜支架拍摄照片时，请确认已插入滤镜，支架附带开已安装好一片中性色彩（NC）滤镜。

插入滤镜

1 解除支架的锁定。
将插入式滤镜支架齿圈向下按并逆时针旋转，直至白线与锁头轴成直角。

2 取下插入式滤镜支架。

3 取下附带的滤镜。

4 将40.5mm旋入式滤镜旋入支架上标有“Nikon”和“JAPAN”的一边。
随后您即可以面向拍摄对象或照相机的方向重新插入支架。

使用另购的插入式C-PL405圆形偏振滤镜

C-PL405可用于阻挡来自玻璃、水面和其他非金属表面的不必要反射。不需要插入式滤镜支架：使用滤镜时，请确保其牢固安装，并清洁意，该滤镜不具备防尘和防溅性能。请注意，使用C-PL405会略增加最近对焦距离，并稍改变对焦距离指示所示的对焦距离。使用调用记忆时，请务必在存储对焦位置之前安装好滤镜。

切勿将C-PL405长时间置于直射阳光下，也不要置于过湿或高温场所。

■ 镜头保养

- 镜头从照相机取下后会恢复至最大光圈，为保护镜头内部，请将其存放在没有阳光照射的地方，或者重新盖上镜头盖。
- 持象照相机的任何时候都需要支撑镜头，否则可能会损坏镜头卡口。
- 拿起或持握镜头或照相机时，切勿仅持拿镜头遮光罩。
- 保持CPU接点清洁。
- 若镜头卡口橡胶垫圈损坏，请立即停止使用并将镜头送至尼康授权的维修服务中心进行维修。
- 用吹气球去除镜头表面的灰尘和浮屑。
- 若要去除玻璃表面的污点和指纹，可使用一块清有少许乙醇或镜头清洁剂的干净软棉布或镜头清洁纸，以圆周运动方式从里向外进行清洁。注意不要留下污渍，也不要用手指触碰玻璃。
- 带有氟涂层的前部组件可简单地使用干布进行清洁。污点和指纹可使用一块干净的软棉布或镜头清洁纸去除：清洁时以圆周运动方式从里向外擦拭。注意不要留下污渍，也不要用手指触碰玻璃表面。清除顽固污渍，请使用一块沾有少许蒸馏水、乙醇或镜头清洁剂的软布轻轻擦拭。拒水、拒油的氟涂层组件上的清状污渍可使用干布去除。
- 切勿使用涂料稀释剂或苯等有机溶剂清洁镜头。
- 将镜头放入镜头套之前，请先盖好后盖和插入式前盖。
- 若在较长时间内不使用镜头，请将其存放在阴凉干燥的地方以防止发霉和生锈。切不可存放在直射阳光下，也不可与石脑油或樟脑丸一起存放。
- 保持镜头干燥，内部构造生锈将导致无法挽回的损坏。
- 将镜头放置在过于炎热的地方将会使强化塑料部件受损或变形。
- 折叠附送的插入式前盖会产生折痕，但这并不妨碍盖子的使用。
- 运输产品时，请在包装箱内装入足够多的缓冲材料，以减少（避免）由于冲击导致产品损坏。
- 切勿坐在或站在镜头外亮上。
- 若使用防盗镜头保护的设备被损坏或被盗，尼康不承担法律责任。

■ 随附配件

- 插入式镜头前盖
- 镜头后盖LF-4
- 镜头遮光罩HK-34
- 插入式滤镜支架
- 40.5mm旋入式NC滤镜
- 吊带LN-2
- 附盖外壳CT-505
- 单脚架固定环

■ 兼容的配件

- 40.5mm旋入式滤镜
- 插入式圆形偏振滤镜C-PL405
- AF-I/AF-S望远倍率镜TC-14E/TC-14E II/TC-14E III/TC-17E II/TC20E/TC-20E II/TC20E III

■ 技术规格

类型	带内置CPU和F卡口的E型AF-S镜头
焦距	500 mm
最大光圈	f/4
镜头结构	12组16片（包括3枚ED镜片组件、2枚雷石组件以及带纳米结晶涂层的镜片组件）、1枚保护玻璃组件（带有氟涂层）
视角	• 尼康FX格式数码单镜反光照相机：5° 00′ • 尼康DX格式数码单镜反光照相机：3° 10′
距离信息	输出到照相机
对焦	尼康内部对焦（IF）系统（可进行由宁静波动马达控制的自动对焦，具备用于手动对焦的独立对焦环）
减震	使用音圈马达（VCM）的镜头位移
对焦距离指示	3.6 m – ∞
最近对焦距离	3.6 m（至焦平面）
光圈叶片	9片（圆形光圈孔）
光圈	自动电子光圈控制
光圈范围	f/4 – 22
测光	全开光圈测光
对焦限制切换器	两段位置：FULL（全部）（∞ – 3.6 m）和∞ – 8 m
尺寸	约140 mm（最大直径）×387 mm（从照相机镜头卡口边缘开始的距离）
重量	约3090 g

尼康公司保留可随时更改说明书内载之硬件规格的权利，而无须事先通知。

Português (Brasil)

Antes de usar este produto, leia cuidadosamente estas instruções e o manual de referência da câmera.

Nota: Quando fixada em uma câmera digital reflex de lente única de formato DX tal como a D7200 ou a D5500, esta lente tem um ângulo de visão de 3° 10′ e uma distância focal equivalente a 750 mm (formato 35 mm).

Para sua segurança

⚠ **AVISOS**

- *Não desmonte nem modifique.* Em caso de mau funcionamento, o produto deve ser reparado apenas por um técnico qualificado. Caso o produto se parte e abra como resultado de uma queda ou outro acidente, evite tocar nas partes expostas. A não observância destas precauções poderá resultar em choque elétrico ou outras lesões.
- *Desligue imediatamente a câmera em caso de mau funcionamento.* Caso você note fumaça ou um odor estranho vindo do equipamento, desligue imediatamente o adaptador AC e remova a bateria da câmera, tomando cuidado para evitar queimaduras. A continuação da operação poderá resultar em incêndio ou lesões. Após remover a bateria, leve o equipamento a uma assistência técnica autorizada Nikon para inspeção.
- *Mantenha seco.* Não exponha o produto à água nem manuseie com as mãos molhadas. A não observância desta precaução poderá resultar em incêndio ou choque elétrico.
- *Não use na presença de gás inflamável.* Operar o equipamento em postos de abastecimento ou na presença de propano ou outros gases inflamáveis ou poeira poderá resultar em explosão ou incêndio.
- *Não olhe para o sol através da lente ou do visor da câmera.* A observação do sol ou de outra fonte de luz intensa através da lente ou do visor pode causar incapacidade visual permanente.

⚠ **PRECAUÇÕES**

- *Mantenha longe do alcance de crianças.* A não observância desta precaução poderá resultar em lesões ou mau funcionamento do produto.
- *Não fique a luz do sol atingindo o foco.* A luz solar focada através da lente poderá resultar em incêndio. Quando estiver fotografando assuntos em contraluz mantenha o sol bem fora do quadro. Se a lente não vai ser utilizada por um longo período de tempo, recomenda-se as tampas da lente e guarde longe da luz solar direta.
- *Não superaqueça.* Não deixe o produto em locais expostos a temperaturas extremamente altas, tais como dentro de um veículo fechado sob a luz direta do sol, nem embrulhe o produto dentro de uma toalha ou lençol ou de outra forma o cubra enquanto o mesmo estiver em uso. A não observância destas precauções poderá resultar em incêndio ou mau funcionamento do produto.

Aviso para os Clientes no Canadá
CAN ICES-3 (B) / NMB-3 (B)

■ Partes da lente

① Empunhadura de borracha
② Botão de função do foco (trava de foco/recuperação da memória/início de AF)
③ Anel de foco
④ Indicador de distância de foco
⑤ Marca de distância de foco
⑥ Índice de rotação da lente
⑦ Marca de montagem da lente
⑧ Gaxeta de borracha de fixação da lente
⑨ Contatos CPU
⑩ Suporte de filtro de encaixe
⑪ Parafuso do suporte de filtro de encaixe
⑫ Ilhós da alça
⑬ Parafuso de fixação do anel da gola do tripé
⑭ Gola rotativa embutida do tripé
⑮ Chave de modo de foco
⑯ Chave de limite de foco
⑰ Chave de redução de vibração
⑱ Seletor de função de foco (AF-L/MEMORY RECALL/AF-ON)
⑲ Chave liga/desliga do bipe
⑳ Botão de ajuste da memória
㉑ Ranhura de segurança (para trava do cabo de segurança)
㉒ Parassol da lente
㉓ Parafuso do parassol da lente
㉔ Gola móvel do monopé

■ Compatibilidade

Esta lente pode ser usada com câmeras série D4, série D3, Df, série D810, série D800, D750, D7000, D610, D600, série D300, D7200, D7100, D7000, D5500, D5300, D5200, D5100, D5000, D3300, D3200 e D3100. Para informações atualizadas sobre as câmeras compatíveis, consulte os nossos últimos catálogos ou visite o site da Nikon.

■ Foco

Os modos de foco suportados são apresentados na tabela seguinte (para informação sobre os modos de foco, consulte o manual da câmera).

Modo de foco da câmera	Modo de foco da lente		
	A/M	M/A	M
AF	Foco automático com preferência para ajuste manual (prioridade AF)	Foco automático com preferência para ajuste manual (prioridade manual)	Foco manual com telemetria eletrônica
MF	Foco manual com telemetria eletrônica		

Modos A/M e M/A

- **M/A**: o foco automático pode ser ignorado girando o anel de foco da lente.
- **A/M**: como acima, exceto que o anel de foco tem que ser rodado ainda mais antes do foco automático ser ignorado, evitando alterações acidentais à focagem causadas por operação não intencional do anel de foco.

1 Deslize a chave do modo de foco da lente para **A/M** ou **M/A**.

2 Foque.
Se desejado, o foco automático pode ser cancelado girando o anel de foco da lente enquanto o botão de liberação do obturador é pressionado até a metade (ou, se a câmera estiver equipada com um botão **AF-ON**, enquanto o botão **AF-ON** é pressionado, ou se o seletor de função de foco for ajustado em **AF-ON**, enquanto é pressionado um botão de função de foco). Para focar novamente usando o foco automático, pressione o botão de liberação do obturador até a metade ou pressione novamente o botão **AF-ON** ou de função de foco.

Chave de limite de foco

Esta chave determina os limites de distância de foco para o foco automático.

- **FULL**: selecione esta opção para todo o alcance de foco.
- **∞–8 m**: Se o seu assunto estiver a uma distância de pelo menos 8 m, selecione esta opção para um foco mais rápido.

■ Botões e seletor de função de foco

A função atribuída pode ser executada pressionando qualquer dos quatro botões de funções. Os botões de foco podem ser girados para uma nova posição. Para mais informações contate os técnicos autorizados pela Nikon.

Seletor de função de foco	Botão de função de foco
AF-L	Trava de foco
MEMORY RECALL	Recuperação de memória
AF-ON	Início de AF da lente

A função atribuída pode ser executada pressionando qualquer dos quatro botões de funções. Os botões de foco podem ser girados para uma nova posição. Para mais informações contate os técnicos autorizados pela Nikon.

Trava de foco (AF-L)

A trava de foco só está disponível com foco automático.

1 Deslize a chave do modo de foco da lente para **A/M** ou **M/A**.

2 Deslize o seletor de função de foco para **AF-L**.

3 Trave o foco.
O foco pode ser travado pressionando qualquer dos botões de função de foco e permanece travado enquanto o botão é pressionado. O foco pode também ser travado usando os controles da câmera.

Recuperação de memória

Salve e recupere posições de foco da lente usadas com frequência.

Salvar posições de foco

1 Deslize a chave liga/desliga do bipe para ♪.

2 Foque.

3 Pressione o botão de ajuste da memória.
Esta operação pode ser executada em qualquer modo de foco independentemente da posição do seletor de função de foco. Soará um bipe se a operação tiver sucesso. Se a operação falhar, o indicador de distância de foco irá girar para trás e para a frente cerca de dez vezes e a lente irá emitir um bipe curto, seguido por três bipes longos. Foque e pressione novamente o botão de ajuste de memória. A distância armazenada não é eliminada se a câmera for desligada ou se a lente for desmontada.

Usar posições de foco armazenadas

1 Deslize o seletor de função de foco para **MEMORY RECALL**.

2 Recupere a distância de foco armazenada.
Pressione qualquer dos botões de função de foco para focar à distância armazenada. A câmera irá focar novamente na distância armazenada mesmo quando o botão de liberação do obturador é pressionado até a metade. O foco normal é restaurado quando o botão de função de foco for liberado. Mantenha o botão de função de foco pressionado até a fotografia ser tirada.

Chave liga/desliga do bipe
A chave liga/desliga do bipe pode ser usada para ativar ou silenciar o bipe que soa durante as operações de ajuste e recuperação da memória.

- ♪: Bipe ativado.
- 🔇: Bipe silenciado.

Iniciar AF (AF-ON)

1 Deslize a chave do modo de foco da lente para **A/M** ou **M/A**.

2 Deslize o seletor de função de foco para **AF-ON**.

3 Foque.
Pressione qualquer dos botões de função de foco para focar usando o foco automático. Também pode focar usando controles da câmera.

■ Profundidade de campo

Se a câmera oferece visualização da profundidade de campo (stop down), a profundidade de campo pode ser visualizada no visor.

■ Abertura

A abertura é ajustada usando os controles da câmera. A velocidade de captura de quadros poderá baixar em algumas aberturas.

■ Redução de vibração (VR)

A redução de vibração (VR) diminui o efeito de desfoque causado pela trepidação da câmera, permitindo velocidades do obturador até 4,0 pontos mais lentas do que seria no caso contrário, aumentando a faixa de velocidades de obturador disponíveis. Os efeitos da velocidade do obturador ligado VR são medidos em modo NORMAL de acordo com os padrões da Câmera and Imaging Products Association (CIPA). As lentes de formato FX são medidas usando câmeras digitais de formato FX, as lentes de formato DX usando câmeras de formato DX. As lentes de zoom são medidas com o zoom ao máximo.

Utilização da chave de redução de vibração

- **Selecione OFF** para desativar a redução de vibração.
- **Selecione NORMAL** para melhor redução de vibração ao fotografar assuntos parados. A redução de vibração tem efeito quando o botão de liberação do obturador for pressionado até a metade.
- **Selecione SPORT** ao fotografar atletas e outros assuntos que estejam se movendo rapidamente e de forma imprevisível. A redução de vibração tem efeito quando o botão de liberação do obturador for pressionado até a metade.

Utilização da redução de vibração: notas

- Quando utilizar a redução de vibração, pressione o botão de liberação do obturador até a metade e espere que a imagem no visor estabilize antes de pressionar o botão de liberação do obturador até o fim.
- Quando a redução de vibração estiver ativa, a imagem no visor poderá aparecer desfocada depois de o obturador ser disparado. Isto não indica um mau funcionamento.
- **SPORT** é recomendado para fotos panorâmicas, embora **NORMAL** também seja suportado.
- Nos modos **NORMAL** e **SPORT**, a redução da vibração aplica-se apenas ao movimento que não faz parte da panorâmica (se a câmera fizer uma panorâmica horizontal, por exemplo, a redução de vibração será aplicada apenas à trepidação vertical).
- Não desligue a câmera nem remova a lente enquanto a redução de vibração estiver em vigor. Se a alimentação da lente for interrompida enquanto a redução de vibração estiver ligada, a lente poderá chocalhar quando agitada. Isto não é um mau funcionamento, e pode ser corrigido reinstalando a lente e ligando a câmera.
- Se a câmera estiver equipada com um flash embutido, a redução de vibração será desativada enquanto o flash carrega.
- A redução de vibração **NORMAL** e **SPORT** pode reduzir o desfoque quando a câmera é montada num tripé. Dependendo do tripé e do ambiente, os resultados poderão variar em alguns casos dependendo do tipo de tripé e das condições de disparo.
- **NORMAL** e **SPORT** são recomendados se a câmera estiver montada em um monopé.

■ Parassol

O parassol protege a lente e bloqueia a luz difusa que de outra forma causaria refração ou fantasmas.

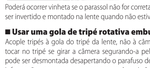
Aperte completamente o parafuso do parassol (❷).

Poderá ocorrer vinheta se o parassol não for corretamente acoplado. O parassol pode ser invertido e montado na lente quando não estiver em uso.

■ Usar uma gola de tripé rotativa embutida

Acople tripés à gola do tripé da lente, não à câmera. Note que a sua mão poderá tocar no tripé se girar a câmera segurando a pega enquanto fotografa. A gola do tripé pode ser desmontada desapertando o parafuso de trava da gola do tripé; para mais informações, contate um representante de assistência técnica autorizada Nikon.

Reposicionar a câmera



Desaperte o parafuso de fixação do anel da gola do tripé (❶). Faça corresponder o índice de rotação da lente (❷) à orientação da câmera, e depois aperte o parafuso (❶).

Gola do monopé

A gola substituível do monopé pode ser usada no lugar da gola do tripé. Depois de substituir a gola, assegure-se de que a trava da gola está completamente apertada. A não observância desta precaução poderá resultar em danos à lente ou à câmera.

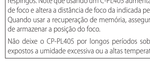
■ Ranhura de segurança

A ranhura de segurança pode ser usada para prender travas de cabos de segurança de terceiros. Para obter mais informações, consulte a documentação fornecida com a trava do cabo de segurança.

■ Filtros

Quando filtar fotografias com o suporte de filtro de encaixe, assegure-se de que está introduzido um filtro. O suporte vem com um filtro de cor neutra (NC) encaixado.

Inserir filtros



1 Destrave o suporte.
Pressione para baixo o parafuso do suporte do filtro de encaixe e gire para a esquerda até que a linha branca esteja alinhada com o eixo da lente.

2 Remova o suporte de filtro de encaixe.

3 Remova o filtro fornecido.

4 Aparafuse um filtro de rosca de 40,5 mm no lado do suporte marcado “Nikon” e “JAPAN”.
O suporte pode então ser reinserido virado quer para o assunto ou para a câmera.

Usar um filtro polarizador circular de encaixe C-PL405 opcional

O C-PL405 bloqueia reflexos indesejados de vidros, água e outras superfícies não metálicas. O suporte de filtro de encaixe não é necessário. Quando usar o filtro, assegure-se de que ele está bem fixo e note que ele não é resistente à poeira ou à respingos. Note que usando um C-PL405 aumenta ligeiramente a distância mínima de foco e altera a distância de foco da indicada pelo indicador de distância de foco. Quando usar a recuperação de memória, assegure-se de que acopla o filtro antes de armazenar a posição do foco.

Não deixe o CP-PL405 por longos períodos sob a luz solar direta ou em locais expostos a umidade excessiva ou a altas temperaturas.

■ Cuidados com a lente

- A lente retorna para a abertura máxima quando removida da câmera. Para proteger o interior da lente, guarde-a afastada da luz solar direta ou recoloque a tampa da lente.
- Suporte sempre a lente ao segurar a câmera. A não observância desta precaução poderá danificar o encaixe da lente.
- Não levante ou segure a lente ou a câmera usando apenas o parassol da lente.
- Mantenha limpos os contatos CPU.
- Caso a gaxeta de borracha de fixação da lente seja danificada, interrompa imediatamente a utilização e leve a lente a uma assistência técnica autorizada Nikon para reparação.
- Use um soprador para remover poeira e sujidade das superfícies da lente.
- Para remover manchas e impressões digitais das superfícies de vidro, aplique uma pequena quantidade de etanol ou líquido de limpeza em um pano de algodão macio e limpo ou um tecido de limpeza de lentes e limpe a partir do centro para fora, num movimento circular, tomando cuidado para não deixar manchas ou tocar no vidro com os dedos.
- O elemento dianteiro revestido de flúor pode ser limpo simplesmente esfregando-o suavemente com um